



# 「2031年の先」 を見据えた佐渡市への提言

2026年3月25日

佐渡市デジタル化推進検討懇談会



- 1 2031年より先の未来へのメッセージ
- 2 2031年までの施策の実行として期待すること



# 提言 1

## 2031年より先の未来へのメッセージ

# 1 2031年より先の未来へのメッセージ



ネイチャーポジティブにおける「循環」は自然生態系のリズムを指し、「サーキュラー」はそのリズムを壊さずに価値を再生産するための人間のデザインです。

循環とサーキュラーの中心には、常に市民の存在があります。

現在、DXとして取り組んでいる街づくりやサービスづくり、佐渡島の未来づくりは、2040年・2050年の社会の主役である今の子どもたちが、その時の条件に応じて作るべきものもあれば、現在から準備しておくべき長期的な仕組みも含まれます。

今から窮屈になる可能性の高いシステムを前倒しで作るのではなく、余白を大きく確保しておくことも未来への持続を支える重要な考え方です。

自然・生態系には特に強い意志を持って取り組む必要がある、という認識のもと、2040年・2050年の未来へ向けたメッセージを送ります。

# 1 2031年より先の未来へのメッセージ



## (1) ネイチャーポジティブ

損失している自然生態系、していない自然生態系、佐渡に住む人は自然資本と生物多様性ととも持続性のある未来を描くという意味での“ネイチャーポジティブ”という意味です。

## (2) スピリチュアルな繋がりを持った「市民行政」

“同じ釜の飯を食う”ように日々の暮らしの中で喜怒哀楽を共にし、産業・暮らし・地域・環境・仲間を意識した全市民の参加（参加から作る、そして全員が自ら）自治体・行政へ。  
そして、未来のコミュニティの姿を考えるにあたり、前方向に進める前に佐渡の本質を大事にし、佐渡の心として魂や精神レベルでの繋がりを大切にする相互扶助という意味です。

## (3) A I 人工知能との共存共生

人口減少対策として、**デジタル労働力**は24時間365日働くことができる優れたものです。

また、人が気づかないことへの知識と知見を得る支援をしてくれます。

今よりも少しだけ良い社会・暮らしになるように、真の持続性のためのデジタル人口との共存共生という意味です。



## 提言 2

2031年までの施策の実行として期待すること

## 2 2031年の先を見据えた施策の実行として期待すること



- (1) 二地域居住の促進や人材確保を含めた交流人口拡大のためのデジタル活用  
二地域居住人口の爆上げで**地域課題の解決と産業の活性化**を！
  
- (2) 一次産業のDX推進化に向けた支援窓口の仕組み化  
地域の課題は地域の企業が解決し、**行政の持ち出しをゼロ**に！
  
- (3) 総合戦略アドバイザー〈デジタル・DX分野〉はお任せください！  
**Data×Digital×Design の3つのDの思考**を佐渡市へ！

# (1) 二地域居住の促進や人材確保を含めた交流人口拡大のためのデジタル活用



## □ 佐渡市特定居住促進計画への提言

① 国が構築する「ふるさと住民登録制度PF」の活用により、ふるさと住民が佐渡市の市民サービスにアクセスできる仕組みを構築

### 多様な担い手の確保（最重点事項）

- 運転士や看護師などをはじめとした地域のライフラインの維持や住民の生命に関わる専門人材や地域（企業）の課題解決に必要な人材の確保を最重点課題とする。
- 二地域居住の促進により豊かに暮らし、イキイキと働ける環境を創出し、**人材の確保、シェアする仕組み**を構築する。
- 首都圏だけでなく、ローカル同士を繋ぎ季節性労働力に対応した**豊かに働き、暮らすスタイル**を構築する。

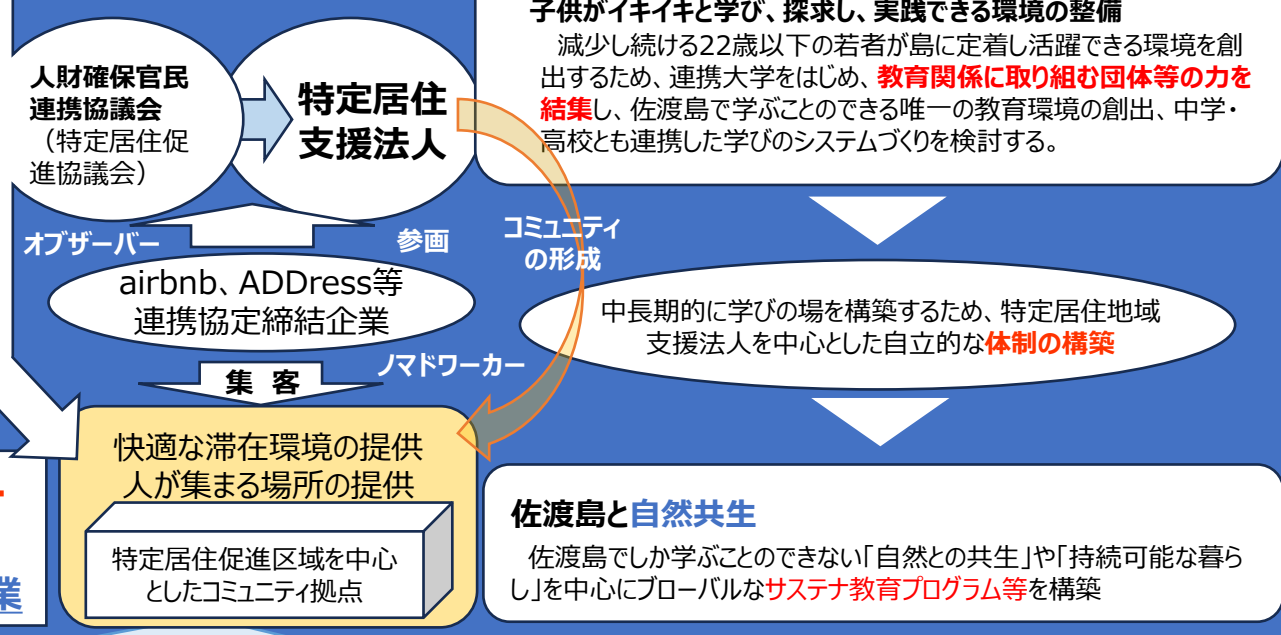
### 進出企業の事業拡大と定着

当市に進出したベンチャー企業等の役員や社員の二地域居住の実現により、新たな働き方を推進するとともに企業の定着化を図る。

- 佐渡市の**市民サービスにアクセス**できる仕組みを構築（ふるさと住民登録制度の検討、移動コストのサブスク・低廉化等）
- 生活拠点および地域居住事業化拠点等の整備

### 二地域居住のための先導的プロジェクト実装事業

短期 中期 長期



### 佐渡ならではの教育環境の整備

**子供がイキイキと学び、探求し、実践できる環境の整備**  
減少し続ける22歳以下の若者が島に定着し活躍できる環境を創出するため、連携大学をはじめ、**教育関係に取り組む団体等の力を結集**し、佐渡島で学ぶことのできる唯一の教育環境の創出、中学・高校とも連携した学びのシステムづくりを検討する。

コミュニティの形成

中長期的に学びの場を構築するため、特定居住地域支援法人を中心とした自立的な**体制の構築**

### 佐渡島と自然共生

佐渡島でしか学ぶことのできない「自然との共生」や「持続可能な暮らし」を中心にグローバルな**サステナ教育プログラム**等を構築

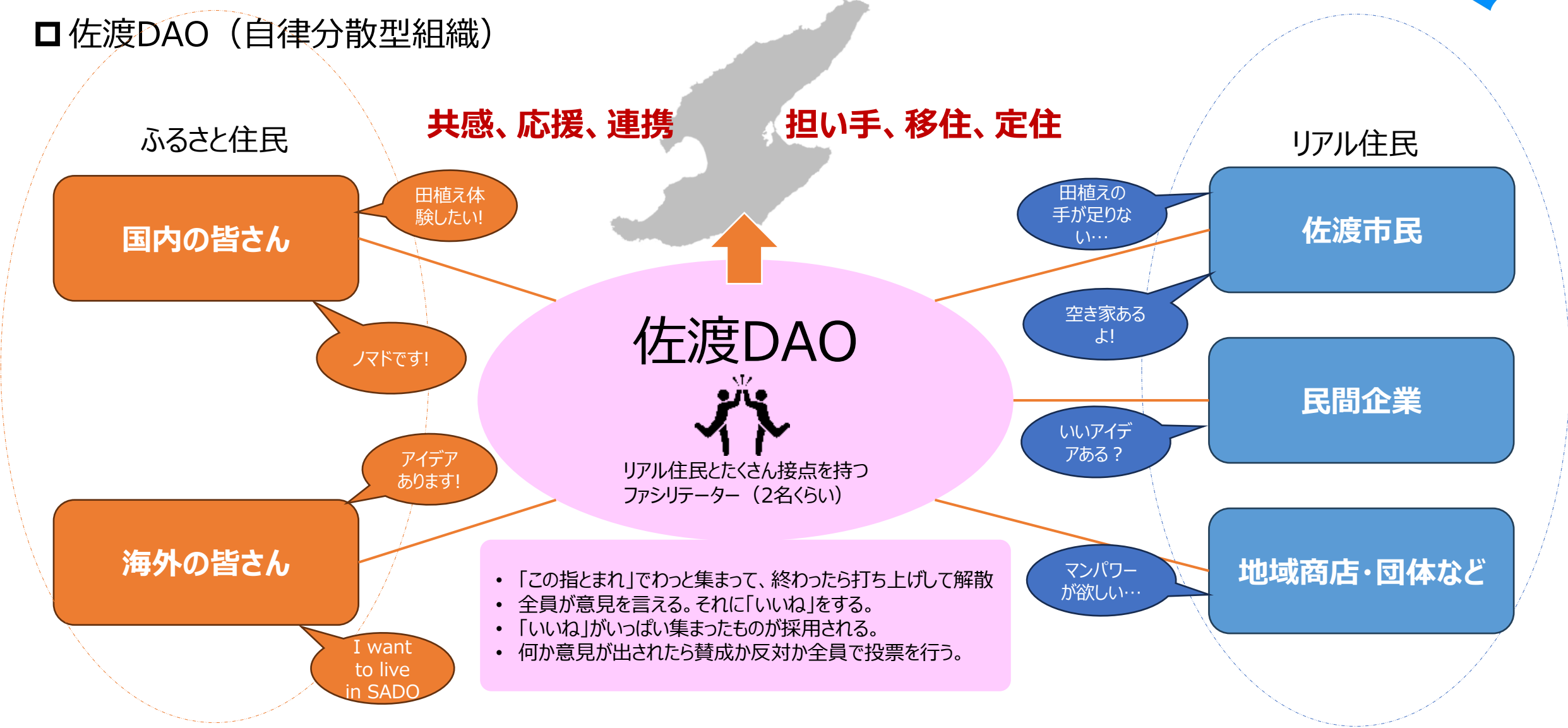
② 「さどまる倶楽部」の6万人を超える“佐渡ファン”を「ふるさと住民」に誘導するためのプロモーション活動の実施

③ サイバー空間に、誰でも参加できる「**佐渡DAO**」を構築。時間的・空間的な制約に左右されず、ふるさと住民がリアル住民と交流できる場を創出し、多様な担い手の確保に繋げるため、地域課題や解決策などについて対話・議論できる仕組みを構築

# (1) 二地域居住の促進や人材確保を含めた交流人口拡大のためのデジタル活用



## □ 佐渡DAO（自律分散型組織）

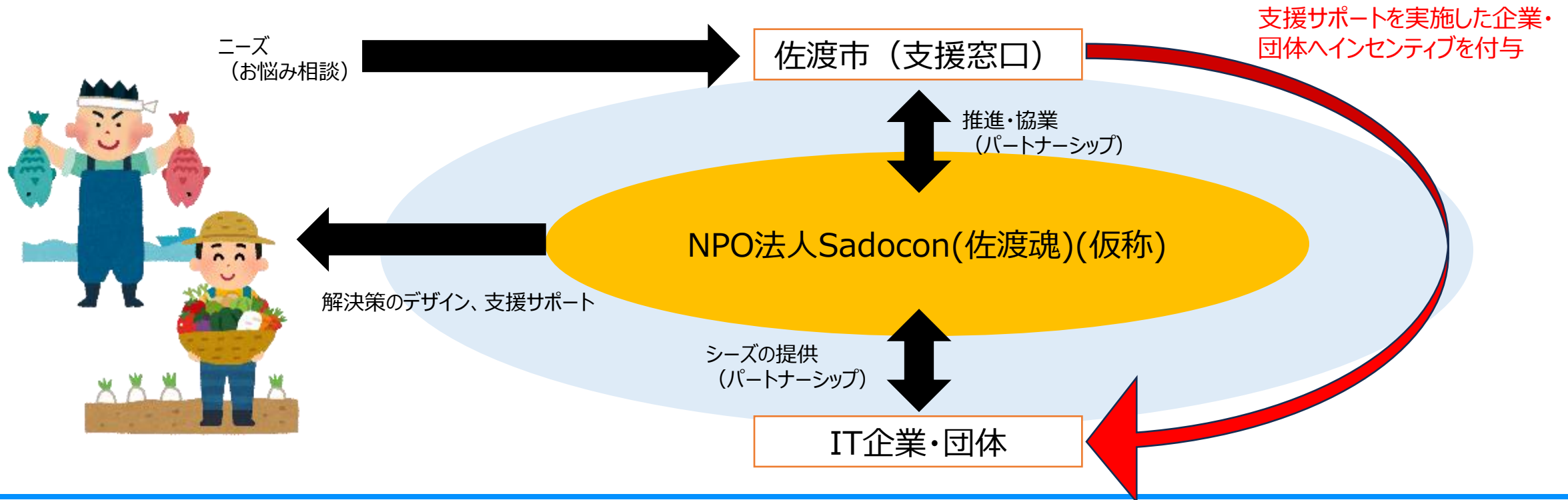


## (2) 一次産業のDX化等に向けた支援窓口の構築



本市において一次産業は、地域経済や雇用を支える基幹産業であると同時に、島の景観や文化を将来に引き継ぐ重要な役割を担っている。一方で担い手不足や高齢化が進む中、若い一次産業従事者の定着と成長には、ICTやデータ活用による生産性向上や働き方改革が不可欠である。

しかし、DXに関する知識や導入ノウハウを個々に習得することは容易でないことから、経営課題や現場ニーズに即した助言や支援を可能とすることで、DXへの心理的なハードルを下げるとともに、持続可能で魅力ある一次産業の実現に資するためのDX専門の相談窓口の設置を提言する。



### (3) 総合戦略アドバイザー〈デジタル・DX分野〉はお任せください！



佐渡市は、起業・交流促進や様々な専門分野においてアドバイザーを設置している。

現在、デジタル・DX分野においては外部人材という形で「デジタル政策主幹」を配置しているが、この体制がいつまで継続されるのかは不明であり、下記の観点からもアドバイザーの設置が必要である。

- 壁打ちできる存在の重要性
- 職員がすぐに意見を聞ける環境の重要性
- 役職・肩書があるが故の相談のしやすさ、秘密情報の保持の重要性

伊藤忠テクノソリューションズ（株）情報通信第1本部

新潟県知事政策局参与（デジタル改革担当）

総務省の「自治体DXアクセラレータ500プロジェクト」の自治体アクセラレータに任命

佐渡市デジタル活用推進検討懇談会アドバイザー



佐藤 久信



<https://www.city.sado.niigata.jp/>